

ISSN 1880-8867



BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY

弘前学院大学

看護紀要

第 12 卷

Volume 12

2017

目 次

〈研究報告〉

看護学部1年次生の初回臨地実習時のコミュニケーション展開における発話の特徴 —再構成記録の分析—	工 藤 千賀子 1 渡 部 菜穂子 阿 部 テル子
基礎看護学実習における学生の対受持患者コミュニケーション展開 —学生と患者の言語的・非言語的表現とその受け止め方の分析から—	阿 部 テル子 13 工 藤 千賀子 渡 部 菜穂子 後 藤 芙優子
小児科外来実習における看護学生の 予診による症状アセスメントを通じた気づきの特徴	齊 藤 史 恵 27
弘前学院大学看護学部専任教員 2015年度教育研究業績	37

弘前学院大学看護紀要投稿規程

1. 投稿資格：投稿は、連名者も含めて、1) 本学の専任教員 2) 非常勤講師 3) 本学の学生（研修生・研究生を含む） 4) 紀要委員会が認めた者とする。
2. 原稿の種類：原稿は、総説・原著・研究報告・その他のいずれかであり、原稿にそのいずれかを明記する。いずれも、未発表のものに限る。
3. 倫理：人および動物が対象である研究は、大学倫理委員会の決定を遵守して、倫理的に配慮された研究でなければならない。その旨を本文中に明記する。
4. 投稿手続き：1) 投稿原稿は、審査のため3部（うち2部はコピーでもよい）を提出する。2) 受理後の最終原稿は、本文をMS-Wordあるいはテキストファイル形式で作成し、印刷媒体3部（うち2部はコピーでもよい）および電子媒体に保存したもの、あるいはE-mail^{注1)}で提出する。
5. 原稿の受付および審査：1) 投稿原稿の受付期間は前もって紀要委員会より通知する。また郵送による場合は、期限当日の消印有効とする。2) 投稿原稿の採否は紀要委員会および紀要委員会が依頼した査読者（学外を含む）による査読を経て、紀要委員会が決定する。3) 紀要委員会の審査により、原稿の修正、削除、加筆および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。4) 原稿の掲載順、印刷の様式は紀要委員会が決定する。
6. 執筆要領：原稿は、A4横書きとする。
 - 1) 論文には表紙をつけ、論文表題、英文表題（すべて大文字）、著者名（ローマ字とも）、所属機関名（英名字とも）、図、表および写真等の数、希望する原稿の種類、投稿者の連絡先（住所、電話、FAX、E-mailアドレス）を記入する。
 - 2) 論文には400字程度の和文要旨と250語以内の英文要旨を添え、日本語および英語のキーワードを4語ずつ加える。
 - 3) 外来語はカタカナで、外国人名、適当な日本語訳がない述語等は原語で書く。
 - 4) 略語は、初出時に正式用語またはスペルを記入する。
 - 5) 度量衡の単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。
 - 6) 英文原稿および英文要旨はネイティブスピーカーの校閲を受け、その証明を添付する。
 - 7) 図、表、写真は図1、表1、写真1等の番号をつけ、本文とは別に一括し、本文の原稿の右欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。なお、カラー印刷は受け付けない。
 - 8) 引用文献
 - ①引用文献は本文中に著者名、（発行年次）、を表示する。
 - ②引用文献は著者名のアルファベット順に列記して文献には片括弧つきの番号をつける。
 - (1) 雑誌掲載論文
著者名（発行年次）、論文の表題、誌名、巻（号）、最初のページー最後のページ
 - (2) 単行書
著者名（発行年次）、書名（版数）、発行地
著者名（発行年次）、論文の表題、編者名、書名（版数）、ページー数、出版社名
 - (3) 訳本
原著者名（原著の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）翻訳書の書名（版数）、出版社名、発行地
7. 著者校正は初校のみとし、校正時の加筆は認めない。2校以降は紀要委員会が行う。
8. 別刷は30部まで無料とし、30部を超える部数については自己負担とする。

注1) 投稿先のE-mailアドレス：kango-kiyou@hirogaku-u.ac.jp

編集後記

弘前学院大学「看護紀要」第12巻への投稿原稿を2017年1月上旬に看護紀要委員会にお寄せいただき、その後、1編につき2名の査読者による2回の詳細かつ丁寧なご校閲によって、また投稿者ご自身のご努力もあって、「看護紀要」第12巻に3編の研究報告を掲載することができました。ご多忙中にも関わらず、査読を担当された先生方に、この場を借りて御礼を申し上げます。

また、昨年度から弘前学院大学看護学部でも、専任教員の2015（平成27）年度の教育研究業績を「看護紀要」第12巻に掲載することに致しました。これを契機に、本学看護学部の教育と研究が、地道ながら堅実に、なお一層、発展することを祈っております。

弘前学院大学「看護紀要」第12巻の発行にあたり、編集作業や編集委員による最終校正を分担された紀要委員会の先生方に感謝申し上げます。

2017年3月31日

弘前学院大学看護学部紀要委員会

委員長 千葉 正司

弘前学院大学看護学部紀要委員会

千葉正司，三上聖治，工藤千賀子，漆沢 舞

弘前学院大学 看護紀要 第12巻

2017年3月31日 印刷

2017年3月31日 発行

編集者

弘前学院大学看護学部紀要委員会

発行所

弘前学院大学看護学部

〒036-8231 弘前市稔町20-7

印刷所

やまと印刷株式会社

〒036-8061 弘前市神田4丁目4-5

BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY
Volume 12, 2017

CONTENTS

RESEARCH REPORT

*CHARACTERISTICS OF UTTERANCE IN THE COMMUNICATION OF FIRST-YEAR NURSING STUDENTS
DURING THEIR INITIAL FIELD PRACTICUM*

-ANALYSIS OF THE RECONSTRUCTION RECORD OF CLINICAL TRAINING SCENE-

*Chikako KUDO 1
Naoko WATABE
Teruko ABE*

*COMMUNICATION DEVELOPMENT BETWEEN PATIENTS AND NURSING STUDENTS AT
FUNDAMENTAL NURSING PRACTICUM -ANALYSIS OF VERBAL AND NON-VERBAL EXPRESSIONS,
AND THEIR PERCEPTION-*

*Teruko ABE 13
Chikako KUDO
Naoko WATABE
Fuyuko GOTO*

*NURSING STUDENTS' LEARNING THROUGH SYMPTOM ASSESSMENT AS PART OF MEDICAL
PRE-EXAMINATION DURING TRAINING IN OUTPATIENT PEDIATRICS*

Fumie SAITO 27